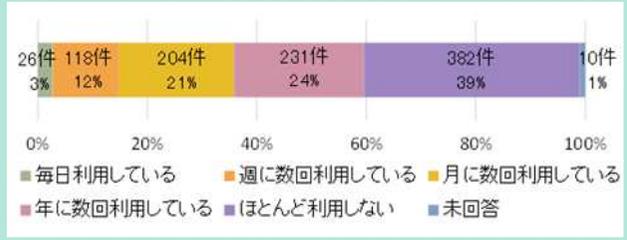


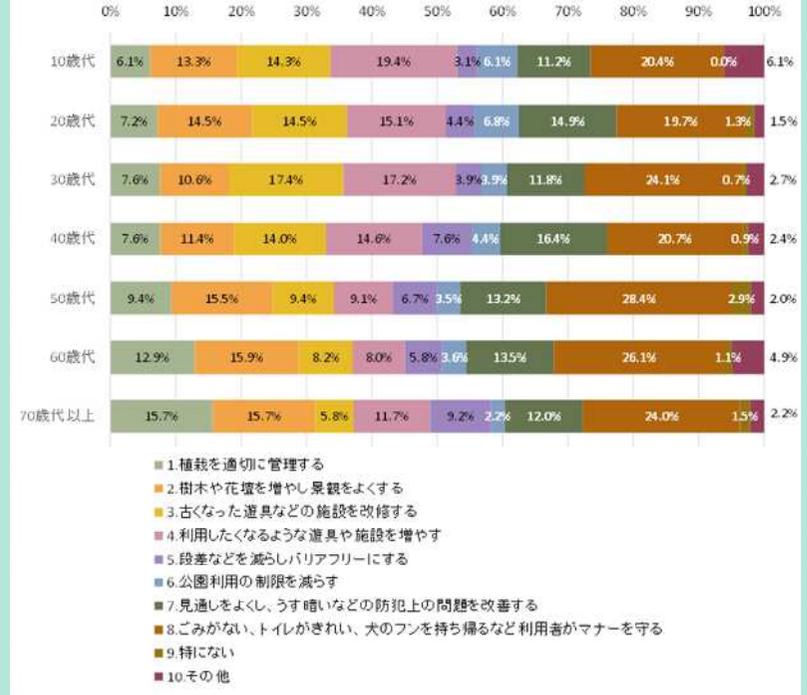
市民アンケート

【対象者】：市内在住の18歳以上の市民
 【標本数】：3,000件
 【抽出法】：無作為抽出
 【調査法】：郵送方式
 【調査期間】：令和6年2月6日～2月29日
 【回収状況】：971（郵送612、web359）
 【回収率】：32.4%

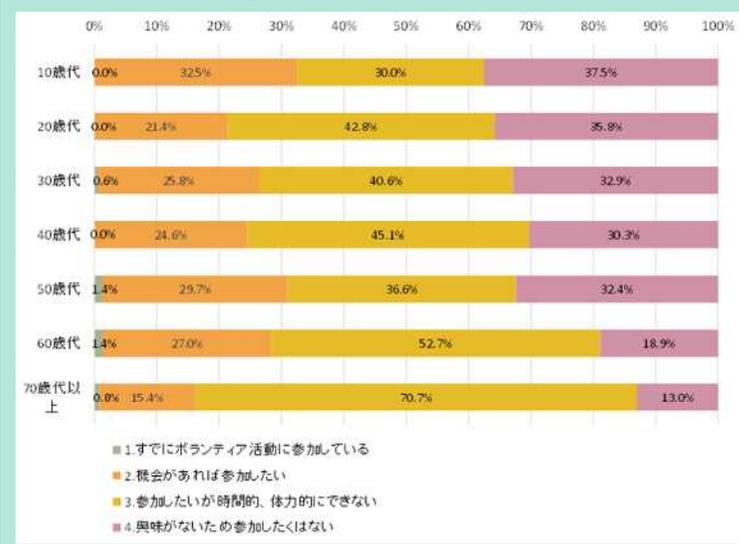
青梅市の公園について 公園の利用頻度
 「ほとんど利用しない」が最も多く39%



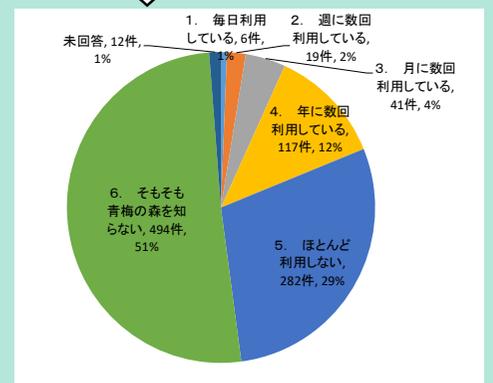
青梅市の公園について 利用したいと思える公園にするには
 「利用者がマナーを守る」が最も割合が高い
 若い世代は「古い施設の改修」「利用しなくなる施設を増やす」との回答割合が高い



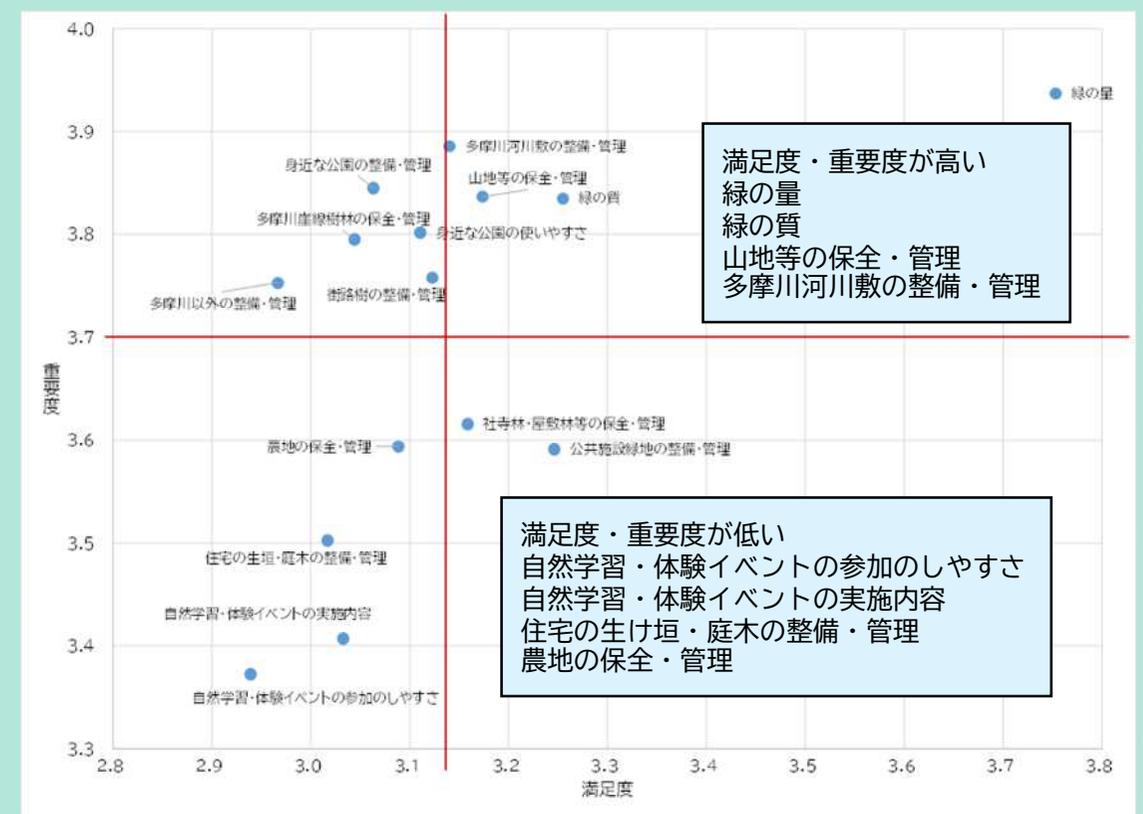
ボランティア活動について どの年代も「参加したいが時間的・体力的にできない」の割合が高い



青梅の森を「そもそも知らない」が5割



「みどり」の満足度・重要度



満足度・重要度が高い
 緑の量
 緑の質
 山地等の保全・管理
 多摩川河川敷の整備・管理

満足度・重要度が低い
 自然学習・体験イベントの参加のしやすさ
 自然学習・体験イベントの実施内容
 住宅の生け垣・庭木の整備・管理
 農地の保全・管理

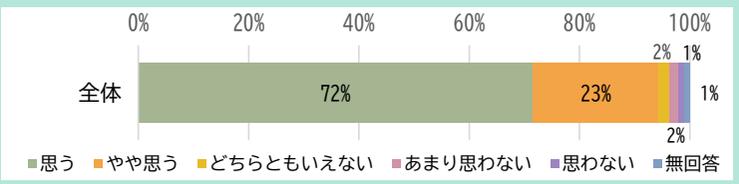
青梅市みどりの基本計画 アンケート調査 結果概要

小学生アンケート調査

【対象者】：市立小学校5年生（16校、811人）
 【調査期間】：令和6年6月3日～6月14日
 【回収率】：66.3%

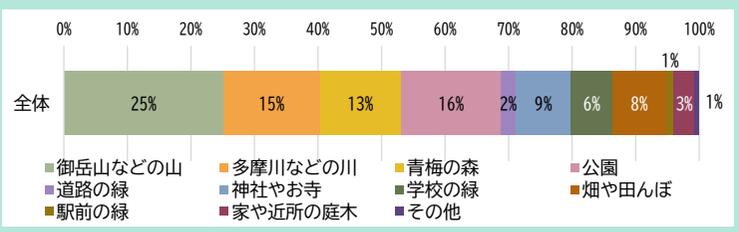
青梅市のみどりの量

思う 72%
 やや思う 23%



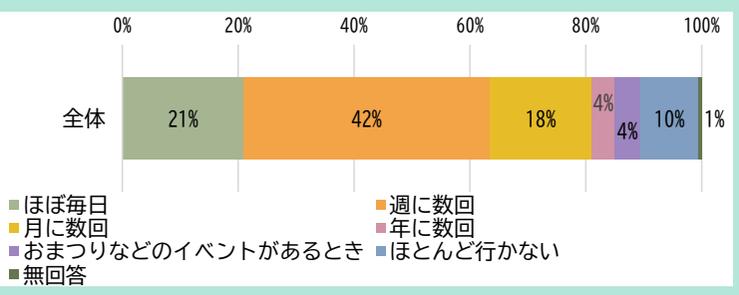
青梅市の好きなみどり

御岳山などの山 25%
 公園 16%
 多摩川などの川 15%



公園に行く頻度

週に数回 42%
 ほぼ毎日 21%
 月に数回 18%
 ほとんど行かない 10%

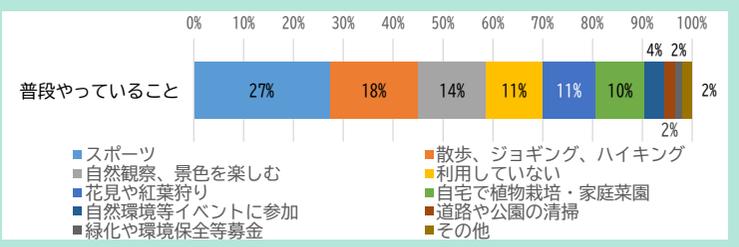


中学生アンケート調査

【対象者】：市立中学校2年生（10校、894人）
 【調査期間】：令和6年7月1日～7月12日
 【回収率】：76.7%

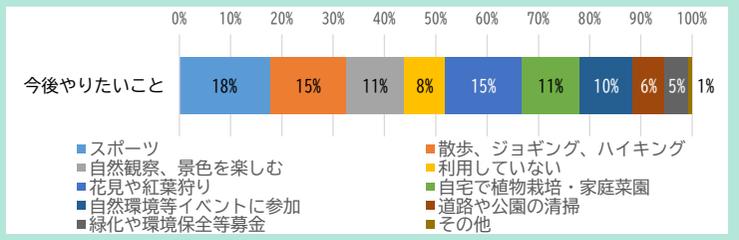
公園・緑地で普段やっていること

スポーツ 27%
 散歩、ジョギング等 18%
 自然観察 14%



公園・緑地で今後やりたいこと

スポーツ 18%
 散歩、ジョギング等 15%
 花見や紅葉狩り 15%



小学生オンライン交流会

【参加児童】：市立小学校16校、65名
 【実施日時】：令和6年7月22日 午前9時30分から午前11時30分まで
 【会場】：各学校間と市役所（オンライン開催）
 【テーマ】：青梅市の豊かな自然や緑を未来につなぐためには

グループE

- ・ポイ捨てをしないためにゴミ箱の設置やポスターの設置
- ・外来種の駆除について住民に呼びかけたい
- ・青梅市の緑や自然を体験するようなツアーをつくり移住者の呼び込み

グループF

- ・環境を汚染するごみを継続的に拾っていくことが大切
- ・そこで、汚いイメージのあるごみ拾いをゲーム感覚で勝敗をつけていくとより参加者が増える
- ・回収したごみをリサイクルし新たな資源とすることが、これ以上ごみを増やさないために大事

グループG

- ・豊かな自然を未来につなぐ取組として、子どもたちが生き物のことを学び、学んだことを多くの人に伝えて、たくさんの観光客に来てもらう
- ・自然を守るため自分自身が自然を好きになる
- ・二酸化炭素を減らすためフードロスなくす
- ・一人一人が考えて行動し、自然を守ろうとすること
- ・（市へのお願い）間伐材でアスレチックをつくる、森林体験で自然を学ぶ取組みをする、梅フェスタを開き青梅の自然の魅力を多くの人に伝えて観光客をさらに増やせるとよい

グループH

- ・水がきれいになったり、自然を見るとリラックスできる
- ・自分たちでできることはごみ拾いを行い、ポイ捨てをしないことを呼びかけ、自然を大切にする
- ・（市へのお願い）自然を紹介したり青梅の文化を知ることができる施設を建ててほしい、川でバーベキューをする観光客がルールを守る看板をつくってほしい、不要な木や雑草を切ってほしい

全体を通して意見・感想

- ・交流会があることで青梅がよくなるので、交流会をもっと増やしてほしい
- ・これからの青梅についてみんなで話し合うことができてよかった
- ・交流会をとおして少しでも学校や市が変わるといいと思った
- ・意見を市長がしっかりと受け止めてくれたので実現してほしい